

学校名	防府市立桑山中学校
-----	-----------

1 学校の概要

校長名	山本幸生	児童・生徒数	642	学級数	22	教職員数	43
教育目標	いのちを大切に、自ら考え、たくましい実践力を身に付けた人間性豊かな生徒の育成 <input type="checkbox"/> 生徒の学力を保障する授業改善の推進 <input type="checkbox"/> 生徒の生き方指導に視点をあてた生徒指導の推進						
学校の状況	【地域社会の特性】 伝統を重んじ、郷土を大事にする気風にあふれており、親切で人情豊かな地域である。また、教育・文化・スポーツ活動においても、協力的で生活意欲も旺盛である。 【生徒の特性】 概して明るく素直で人なつっこい。気力や忍耐力、自己調整力などやや課題はあるが、快活で清々しくおおらかな気質を有している。						
SWOT分析による長所・短所	【長所】 <input type="checkbox"/> 協力体制が備わった教職員の良好な人間関係 <input type="checkbox"/> 教職員のフットワークの軽さと迅速な対応 <input type="checkbox"/> 校内でのメール配信システムの幅広い活用による業務改善の推進 <input type="checkbox"/> 小中連携への意識が高い教職員集団 【短所】 <input type="checkbox"/> ベテランが多く、意識改革が困難 <input type="checkbox"/> 教員数が多く、意思統一が困難 <input type="checkbox"/> 学校運営への参画意識の薄さ <input type="checkbox"/> トップダウンの浸透しにくさ						
研究テーマ	業務の効率化を図るための複数教頭制とプロジェクトチームの在り方						

2 1年間の実践研究の取組状況

[校内委員会、協議会、検討会、アンケート実施等の時期や内容]

SCRUMGO (スクラムゴー) の合い言葉を各チーム名とした「組織体としての教育実践を推進」	
6月	・調査研究事業を企画委員会（以後、校内検討委員会）、職員会で確認調査研究開始
8月	・校内検討委員会～機能性向上を図るための校内組織の見直し （ミドルリーダー研修会：SWOT分析）
11月	・業務改善についてのアンケートを実施

1 2月	・プロジェクトチーム編成の組織についてのアンケートを実施
1月	・校内検討委員会～組織についての検討 (ミドルリーダー研修会：「組織体として動く学校づくり」)
2月	・校内検討委員会～組織についての検討
3月	・組織についての改善案の提示検討

3 実践研究の内容と成果

[各項目における実践研究内容とその成果]

(1) 組織力の強化に係る取組

ア 複数教頭制における職務分担の明確化

指揮系統「校長→第一教頭→第二教頭」の反映と組織活性化のための職務分担の明確化

第一教頭

- 学校事故、保護者・地域等への対応（信頼関係の構築）
- 特別支援教育、不登校生徒への対応（教職員の指導、保護者の相談、関係機関との連絡・調整）
- 校務分掌
 - ・総務
 - ・教職員評価
 - ・サービス、綱紀保持
 - ・教育課程の編成
 - ・組織活性
 - ・教職員福利厚生
 - ・施設管理・開放
 - ・渉外
- P T A、教育後援会
- 教科指導（9時間）

第二教頭

- 生徒指導、非行等への対応
- 校務分掌
 - ・学校評価
 - ・教育課程の実施、教科指導、研修、初任者研修
 - ・学校保健、学校給食
 - ・小中連携教育
 - ・中高連携教育
 - ・情報発信
 - ・環境整備・営繕
- 同窓会
- 教科指導（11時間）

イ 3グループ7プロジェクトチーム体制による校務分掌運営の推進

従来の校務分掌＝校務の分担・係活動



教育課題の共通認識・共同実践へ

<一人ひとりが学校経営者の視点をもつ>

- 合議による協同実践体制の確立・推進
- 教育課題の重点化と役割分担の明確化
- 教育活動のスリム化

ウ 人材育成による組織力の向上

(ア) 校務分掌での組織的なOJTの展開

- ミドルリーダーの育成
 - ・組織的な学校運営の中心者としての権限と責任
 - ・3グループのリーダーによる、各プロジェクトのチームリーダーの統括と育成
 - ・ミドルアップ・ミドルダウンを行う力量の強化
 - ・次世代のリーダーを育成する視点と自覚の醸成
 - ・ミドルリーダー研修会（SWOT分析、組織体として動く学校づくり）
 - ・学校運営推進の要としての力量（例：企画力や創造力）を高める場としての企画委員会、運営委員会の重視
- 若手教職員の資質能力の向上
- ベテラン教員の自覚、やりがい、若手を育てる意識の醸成
- 適材適所の人的配置と組織を支える「有能なフォロワー」の育成
- プロジェクト部会（＝小集団組織）の活性化による学び合い

(イ) 校内研修の多面化～意図的・計画的・継続的

- 学年部会での研究協議による学年・学級経営力の向上
- 教科部会での研究協議、授業参観・授業研究による教科経営力の向上
- 学校の研究テーマ設定による授業実践と授業評価、授業研究と研究協議
- 授業、部活動等での共同実施による授業力、部活指導力の向上

(ウ) 教職員評価制度の活用

- 学校の重点取組事項を踏まえた自己目標の設定→目標の共有、実践内容の明確化
- 管理職による面談等での相互理解や指導助言、目標と評価による育成
→ 意欲付け、個性や課題の把握、自己研修の推進

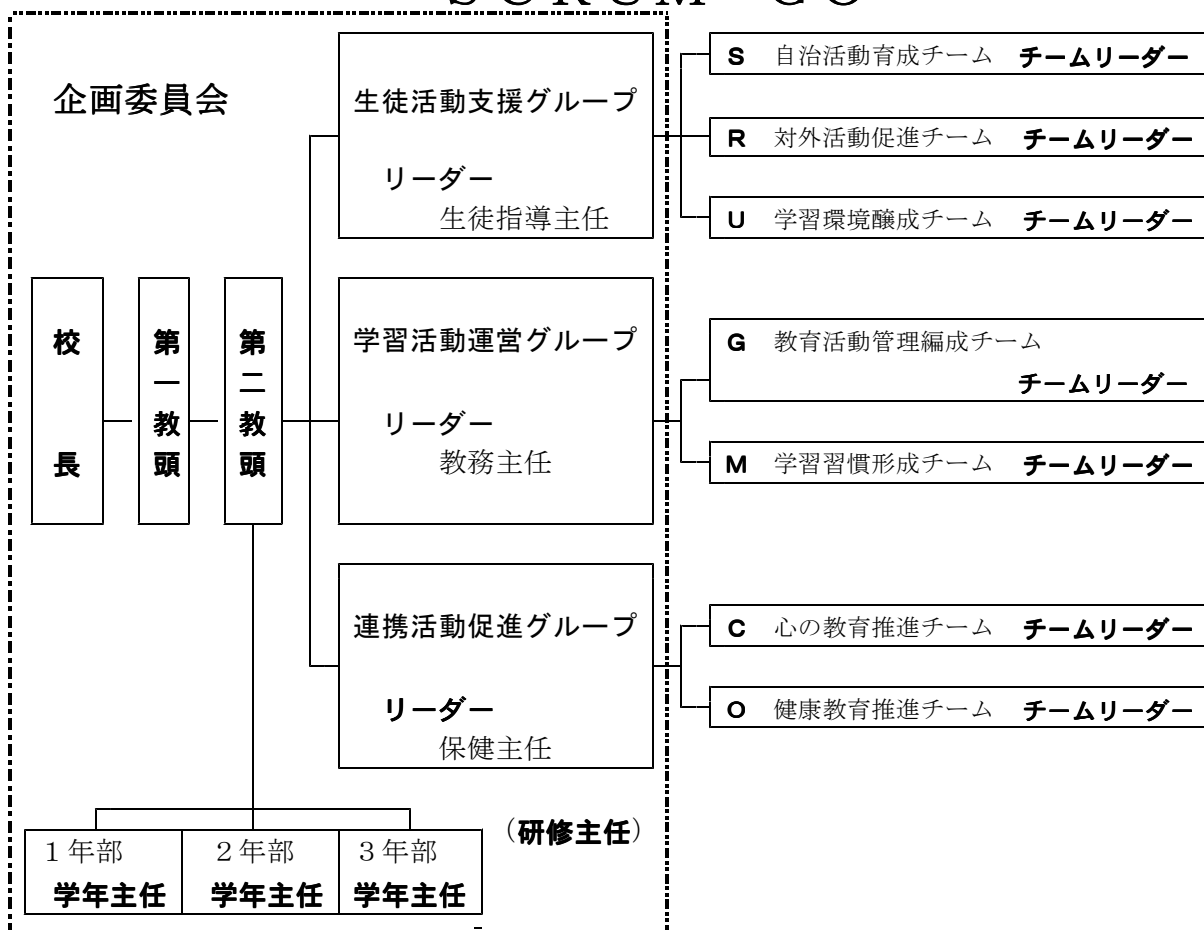
【成果】

- 合議による共同実践体制が確立し、教育課題の重点化と役割分担の明確化及び教育活動のスリム化、効率化が図られた。
- 仕事への有用感、学校運営参画意識の高揚が図られ、協働実践を実現する組織体としての力が増した。
- ピラミッド型組織の構築（縦系列と横系列の整備）が進んだ。
- 教職員間のコミュニケーション（合議）が増加し協力体制がより強固になった。
- 新たな課題、地域との連携、危機管理等への機動性が高まった。
- 教頭の職務分担を周知することにより、業務が円滑に進められるようになった。
- 管理職と教職員とをつなぐミドルリーダーの動きがよくなり、校長を頂点とした意思伝達や組織的活動がピラミッド型に波及しやすくなった。

【課題】

- 地域との連携等、新たな課題への対応
- 教員の授業力向上・学力向上への対応
- コミュニティ・スクールに向けての組織づくり
- プロジェクト間で重複する行事や事業の調整
- 複数教頭制における各教頭の効果的なOJTの進め方
- 複数教頭制による業務分担等の再確認

SCRUM-GO-



運営委員会

(2) ICTの活用等による情報共有、業務改善に係る取組

ア 職員室LANによる事務の効率化、指導技術の共有

- (ア) 作成文書の蓄積
- (イ) 学年・教科のワークシート、テスト類の蓄積
- (ウ) 成績等のデータの管理保存

イ 職員室LANに設置された電子掲示板（グループボード）の書き込み・文書掲示による情報伝達の効率化・共有化（情報を内に開く）

- (ア) 個人、各学年、各プロジェクトからの連絡等
- (イ) プロジェクト部会の報告

【成果】

- 情報共有のスピード化と確実性が向上した。
- 業務の効率化が進んだ。

【課題】

- 書き込み等をする教職員の固定化
- 職員室LAN担当者のプロジェクトへの位置付け
- ICTの活用についての校内研修の推進

(3) 地域やPTAとの連携、外部人材の活用に係る取組**ア 学校間の連携（小・中連携、中・高連携、中・中連携）**

（桑山中校区：桑山中・華城小・華浦小・新田小・佐波小）

- 5校連絡協議会（各校校長、教頭、生徒指導主任、PTA会長）
- 養護教諭連絡会
- 教育相談担当連絡会（各学期1回年3回）
- 小・中での授業交流および、相互の授業研究会への参加
- 小・中での行事交流および、相互の行事への参加
（学校自由参観旬間、人権講演会等）
- 小学校での出前授業（外国語活動）、小中合同研修会
- 小学生の中学校授業参観日
- 小・中・中連携 華城地区佐波川清掃（華城小・桑山中・華西中）
- 小学校保護者への学校だよりの配付
- 小中生徒指導連絡協議会（各学期1回）
- 中高生徒指導連絡協議会（年2回）

イ 地域間の連携

- ボランティアサービス活動～クリーン作戦～
防府駅前清掃、桑山公園の壁の落書き消し、華城地区佐波川清掃 等
- 地域人材の活用
働く人に学ぶ（キャリア教育）
道徳や教科の授業
郷土資料館での授業
講演会
- 職場体験学習
- 公民館活動への参加…美術・科学部による公民館での工作・科学教室
美術・科学部・教科による地域文化祭への作品出品
吹奏楽部による演奏
- 地域教育モニターへのアンケート
- 地域にも呼びかけた学校自由参観旬間、人権講演会
- 民生委員等への学校だよりの配付

ウ 他機関との連携

- ケース会議
（防府市子育て支援課、防府市教育委員会、児童相談所、民生委員、
やまぐち総合教育支援センター、SSW）

- 学校サポートチーム連絡協議会
（華城小・華浦小・桑山中…校長、教頭、生徒指導主任、P T A会長、民生・児童委員協議会長、保護司、主任児童委員、市教育委員会、山口保護観察所主任官、防府警察署生活安全課）
- 桑山校区健全育成協議会（保護司、民生委員、主任児童委員）
- 中学校区保護司会情報交換会
- 合同巡視（夏休み）
担当学校長、各中高生徒指導主任、警察署（生活安全課）、市教育委員会担当

エ 保護者との連携

- 各種「たより」による情報の共有化
- 自由参観旬間や参観日
- 学校やP T Aからのメール配信システムの活用

【成 果】

- 地域との連携強化による、信頼感の向上

【課 題】

- 地域へのさらなる情報発信（対象範囲や情報量の拡大）
- 保護者、地域の知りたい情報と学校の伝えたい情報とのずれの調整
- メール配信への加入促進
- メール配信の活用範囲の拡大（学級、部活動、P T A）
- メール配信のルールづくりと保護者の理解
- コミュニティ・スクールについての理解と協力

4 今後の取組内容

[実践研究の成果・課題を受けて、今後継続的、発展的に取り組む内容や課題について]

- (1) より強固なピラミッド型組織の構築に向けての教職員の意識改革
- (2) ピラミッド型組織でのフラット型組織の利点の生かし方の研究
- (3) 新たな課題に対応できる組織体制の見直し
- (4) コミュニティ・スクールへの移行に向けての準備
- (5) I C Tの活用の推進